

2021年

春
号

JAグループ広島 宮農通信

全農提供ラジオ番組のご紹介



- <https://www.tfm.co.jp/agrinews/>
 ●放送日：毎週月曜～金曜日 6:30～6:35
 (広島FM)
 ●パーソナリティ：月～木 鈴村健一さん
 金 山崎範範さん



- <https://www.tfm.co.jp/cdj/>
 ●放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送
 (広島FM)
 ●パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん
 安田レイさん



- <https://www.tfm.co.jp/itadakimasu/>
 ●放送日：毎週木曜日 6:15～6:25
 (広島FM)
 ●パーソナリティ：川瀬良子さん

~全国FM38局で放送中~



JA全農ひろしまホームページ



<https://www.jazhr.jp>



▲1月に三次家畜市場で行われた初せりの様子

◆ 米穀情報

- ①米の需給動向
- ②令和3年産米の作付意向
- ③ひろしま米の価値向上を目的とした「ひろしま米ブランド戦略」
- ④「SDGs」(持続可能な開発目標)や持続可能な農業の実現への取り組み

◆ TOPICS

- ひろしま園芸ステーション稼働
- 産直市マッチングシステムTOREJA(トレジャー)

◆ 園芸情報

- ①生産振興の取り組み
- ②青果物の販売経過および情勢

◆ 農業機械情報

共同購入トラクタ(中型)県内初納品

◆ 宮農支援情報

- ①令和3年度大型特殊自動車運転免許(農耕車限定)取得に向けた講習会開催
- ②全農チャレンジファーム広島・三原農場 JGAPの認証を取得!
- ③全農チャレンジファーム広島・三原農場、上下農場 新規就農研修生募集

◆ 肥料・農薬情報

水田での無人航空機ドローンの活用について



① 米の需給動向

令和2年産米は、全国的には需要減少に見合った作付面積の削減が進まない状況のなか、新型コロナウイルス感染症の影響による消費減退も加わったことで主食用米の需要が大幅に減少したほか、全国の作況指数が99の「平年並み」となったことで、需給緩和局面を迎えていました。

このような状況を踏まえ、農林水産省は令和3年産における主食用米の適正生産量を693万トンと過去最大規模となる作付転換が必要な水準で設定しました。これは、前年産(平年作ベース)の生産量から36万トン、面積では67千haと前年実績比で5%の減産が必要な水準となっています。

【主食用米等の需給見通し(農林水産省の資料を基に作成)】

項目			2/26食糧部会 農水省基本指針
令和 2 / 3 年	令和2年6月末民間在庫量	A	200
	令和2年産主食用米等生産量	B	723
	令和2/3年主食用米等供給量計	C = A + B	922
	令和2/3年主食用米等需要量	D	711~716
	令和3年6月末民間在庫量	E = C - D	207~212
※令和2/3年主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向等によって、今後、変動する可能性がある。			
令和 3 / 4 年	令和3年6月末民間在庫量	E	207~212
	令和3年産主食用米等生産量	F	693
	令和3/4年主食用米等供給量計	G = F + E	900~905
	令和3/4年主食用米等需要量	H	705
	令和4年6月末民間在庫量	I = G - H	195~200

※ラウンドの関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

② 令和3年産米の作付意向

農林水産省が公表した「令和3年産米等の作付意向について(第1回中間的取組状況)」によると、主食用米の作付意向は、令和2年産実績との比較で前年並み傾向が28県、減少傾向が19県となり、需要に応じた生産の実現には、より一層の作付け転換の推進が必要な状況となっています。

【令和3年産米等の作付意向(令和3年1月末現在)(農林水産省の資料を基に作成)】

	主食用米	備蓄米	加工用米	飼料用米	WCS	米粉用米	新市場開拓用米	麦	大豆
前年より増加傾向	0	10	18	31	13	17	19	13	15
前年並み傾向	28	12	17	9	25	22	9	22	23
前年より減少傾向	19	12	9	5	6	6	10	10	7

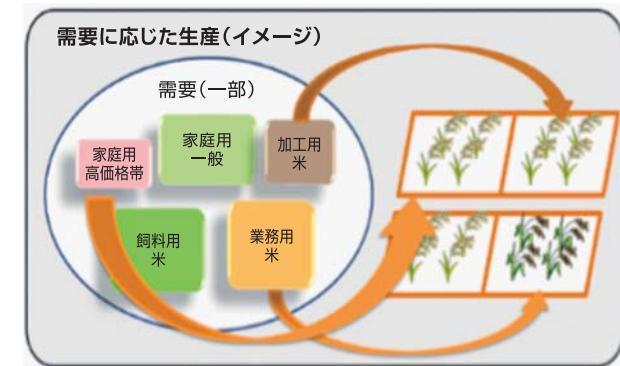
※前年実績との比較。数字は都道府県数。

【参考】広島県を抜粋

広島県	主食用米	備蓄米	加工用米	飼料用米	WCS	米粉用米	新市場開拓用米	麦	大豆
	→	→	↘	↗	→	↗	↘	↘	↗

こうした先行き不透明な情勢にあって重要なことは“広島米の契約販売先を維持確保すること”です。米の需給環境が不安定さを増すなか、販売先を明確にした契約取引の拡大が重要になります。

今後とも、JAグループ一体として、需要に応じた米の計画生産の取り組みを継続するとともに、県産米のブランド化といった有利販売に資する取り組みを強化するなど、生産から販売まで確実に結び付ける契約取引を拡大し、農業者の所得・経営の安定につなげます。



③ ひろしま米の価値向上を目的とした「ひろしま米ブランド戦略」

(1) 生産地と消費地を結ぶ「JAの結び米」の取り組み

产地・地域の特徴、生産者の特色ある取り組みや“こだわり”を商品化し、生協・量販店等と連携することで、生産者と消費者の結び付きを強化しています。



(2) 広島県民米「贅沢あきるまん」の取り組み

令和2年度から、より広域的な取り組みとして「あきるまん」のブランド力向上を進めています。ブランド化の取り組みにより、さらなる認知度向上を図り、県内消費拡大・生産振興につなげていくことを目的としています。今回はその一環として、新たに販売を開始した広島県民米「贅沢あきるまん」についてご紹介します。

～広島県民米「贅沢あきるまん」とは～

- JAのカントリーエレベーターなどの施設を活用し、玄米ふるい目2.0mmで残ったお米だけを「プレミアム(贅沢)あきるまん」として認定しています。
- 米の充実度が高く、タンパク含有率が低い粒だけを厳選することで、食味値が向上しました。
- 大粒に厳選した「粒感の良さ」によって、おいしさを最大限に引き出しています。



J A グループ広島では、このような取り組みを水平展開することでひろしま米の価値向上を図り、農家所得の向上につなげていきます。

④「SDGs」(持続可能な開発目標)や持続可能な農業の実現への取り組み

資源循環等により、環境負荷の低減を図ることで持続可能な農業の実現を目指すだけでなく、それを消費者に伝えることで、近年高まりつつあるエシカル消費を促し、米の需要拡大につなげることを目的としています。

※エシカル消費…商品を購入することで環境や社会問題の解決に貢献できるものを選ぼうとする消費活動

○3-R(さん・あーる)ブランド商品の展開

令和元年度から、「SDGs」(持続可能な開発目標)の一環として、耕畜連携・資源循環ブランド「3-R(さん・あーる)」商品を、とれたて元氣市をはじめ県内のJA産直市等で発売しており、JA全農ひろしまが定めた要件を満たす農畜産物や加工品を、3-R商品として認定しています。米では精米2商品、加工食品2商品をブランド認定し販売しています。



○パールライス工場での新たな取り組み

パールライス工場では、令和2年7月に新たに無洗米製造装置SJR36A(株式会社サタケ)を導入しました。

これにより、無洗米商品の品質向上を図るだけでなく、無洗米製造装置から出る排水を液体飼料(SJRリキッドフィード)として有効活用する取り組みを行っています。



このように精米工場での付加価値向上や環境に配慮した取り組みなどを通じ、農家の皆様にもメリットを還元してまいります。

■ JA全農ひろしまホームページ <https://www.jazhr.jp/>

※トップページから、「広島の農畜産物」⇒「広島のお米」と 検索

～パールライス工場～

精米商品開発の核となるのがJAグループ広島の精米工場「パールライス工場」(東広島市西条吉行東2丁目3-41)です。

パールライス工場では、精米HACCP規格に基づく食品安全衛生管理・品質管理のもと、小ロット・多品目の製造対応が可能な精米ラインを設置し、地域の特色ある精米商品の製造・開発を行っています。

〈お問合せ先〉米穀総合課／塙本:TEL.082-431-5450
米穀販売課／山口:TEL.082-431-3000

JA全農ひろしまは、今後も広島県内のお米や産地の魅力を発信していきます。

TOPICS

ひろしま園芸ステーション稼働

JA産直市間の連携強化の拠点となる「ひろしま園芸ステーション」が令和2年12月15日、JA全農ひろしま事務所の隣に完成しました。第28回JA広島県大会で決議された「JAファーマーズ・マーケット間の連携強化」の実践に向けて、集出荷の機能を高め、生産者の販路拡大を後押しします。

同ステーションは、県内のJAから青果物等を集荷、保管し、JA産直市などへの販売を担います。



産直市マッチングシステム

TOREJA トレジャー

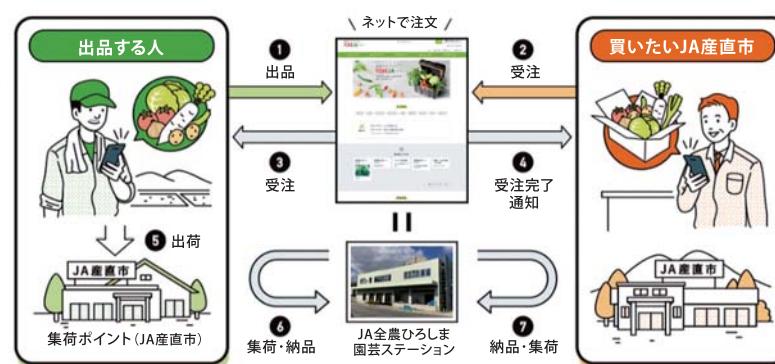


「ひろしま園芸ステーション」では、産直市マッチングシステム「TOREJA」(トレジャー)を活用した集荷や納品なども行います。TOREJAの意味は、英語の「宝物(TREASURE)」と「とれたて・新鮮」なものを取り扱っている「JA産直市」をあわせた造語です。

TOREJAでは、

- (1)出荷者(生産者)が出品する商品の価格、出荷できる数量を決め、
- (2)購入を希望するJA産直市などは、出品情報に基づき、自由に購入することができます。

出荷者(生産者)は計画的に出荷できるとともに、購入を希望するJA産直市などが増えれば販路も広がります。購入者は、地元から出荷がない商品や県内各地の出荷者(生産者)の商品を販売することができます。



○出品できる方：とれたて元氣市の登録者でTOREJAへ登録された方
○購入できる方：JA産直市など

TOREJAの取り組みイメージ

- (1)出荷者(生産者)が商品(野菜や果物、荷姿ごとの単価、出荷できる数量等を登録)を出品
- (2)購入者が出品された商品を注文 ⇒ 出荷者(生産者)は受注情報をメールで確認 ⇒ 受注完了
- (3)出荷者(生産者)が集荷ポイントのJA産直市へ搬入 ⇒ 全農が集荷 ⇒ 園芸ステーション ⇒ 注文したJA産直市などへ納品

〈お問合せ先〉直販課／藤田:TEL.082-831-1131

園芸情報

① 生産振興の取り組み

■白ねぎ調整作業の効率化に向けた取り組み

広島県園芸振興協会白ねぎ部会では、白ねぎ調整機の現地検討会を令和3年1月19日にJA広島北部農業総合センターで開催しました。

白ねぎの調整作業は、栽培から出荷までの全体労力の約6割を要しています。今回の実演機は根切り、葉切り、皮むきの一連の動作を1台で完結できる機械で、従来の機械より調整作業の効率化が図られると期待されています。現地検討会には、県内6JAと、行政など合わせて約30名が参加し、期待の高さが伺えました。

本機はまだ試作段階であるため、今後、製品化にむけて生産現場での試験を繰り返し、県内の生産者などから広く意見を集めていく予定です。あわせて販売対策についても、バラ出荷等の規格提案をはじめ、契約販売を一層進め、生産者の手取り最大化を図っていきます。



現地検討会の様子



白ねぎ調整機

■パイプハウス建て方講習会の開催について

全農ひろしまは令和2年12月9日、「パイプハウス建て方講習会」をJA西日本農業技術センターで開催しました。

施設園芸に取り組む生産者にとって大きな負担となっているハウス設置にかかるコスト低減策として、5年前から「全農ひろしま型ハウス」の推進を行っています。通常は施工まで行うパイプハウスの設置について、部材のみを供給し、設置は購入者（生産者）が行うことで費用を抑えています。今回の講習会は、5JA 22名の生産者およびJA職員が参加し、建て方に関する基本的な知識・技術の習得が図られました。



実際にハウスを建てる参加者



被覆資材をかける様子

② 青果物の販売経過および情勢

◆青果物 令和2年12月～令和3年2月までの販売経過

※金額は全て税抜

2020年（令和2年）12月は、好天の影響により出荷量は前年よりも多く、白菜やだいこん等の重量作物の販売は苦戦し、各品目とも単価安で推移しました。1月に入ると昨年までの豊作基調から一転して、徐々に冷え込みが厳しくなり、生育の鈍化により出荷量は前年よりも少なくなりました。また、ここ数年は暖冬続きでしたが、久方ぶりに冷え込みが厳しい冬となり、鍋需要の高まりや出荷数の減少もあり1月～2月は前年を超える単価となりました。

そのような中、JA全農ひろしまの青果物の取り扱い（令和3年2月末累計）のうち、卸売市場仕向けについては、家庭内需要の高まりもあり単価高の傾向で、出荷重量11,757t（前年比102%）、販売金額4,031百万円（同105%）、単価は343円/kg（同103%）で推移しています。

■JA全農ひろしまの販売状況（令和2年4月～令和3年2月累計）

	数量		金額		単価	
	(t)	前年比	(千円)	前年比	(円/kg)	前年比
野菜合計	11,757	102%	4,031,711	105%	343	103%
トマト	2,691	104%	865,588	112%	321	108%
青ねぎ	1,470	92%	844,760	96%	574	104%
アスパラガス	263	83%	296,985	85%	1,130	102%
小松菜	1,135	123%	310,342	127%	273	103%
ほうれんそう	491	97%	271,224	106%	552	108%
きゅうり	730	97%	192,387	99%	263	102%
ばれいしょ	262	178%	75,356	320%	287	179%
ミニとまと	164	91%	99,318	91%	606	101%
だいこん	1,299	93%	111,219	110%	85	118%
キャベツ	1,169	118%	79,459	134%	67	114%
わけぎ	254	80%	173,101	90%	681	112%
なす	208	99%	62,637	125%	301	127%
豌豆	57	110%	51,914	107%	903	97%
青梗菜	188	108%	60,048	107%	319	99%
ジャンボピーマン	99	88%	35,215	118%	355	133%
その他葉茎菜類	155	95%	60,295	103%	389	109%
南瓜	68	62%	14,483	93%	214	153%
白ねぎ	391	127%	121,786	148%	311	116%
その他	663	99%	305,594	98%	461	99%

※JA全農ひろしまの主要品目別市場出荷実績

〈お問合せ先〉園芸課／神田：TEL.082-846-4708

◆2月単月の全農ひろしま出荷販売概況

【数量】

- 2月単月の出荷量は前年と比較し、61トン減少し、前年比90%で推移しました。キャベツ・わけぎ、青梗菜の数量が減少したことが主な要因です。
- 一方、トマト(121%)、ばれいしょ(150%)、ほうれんそう(106%)は、前年の2月単月を大きく上回る出荷量でした。※()は前年比。
- 2月は降雪や低温の影響により生育が鈍化したため出荷量が減少しました。

【金額・単価】

- 2月単月の単価については、主にわけぎや白ねぎ、ばれいしょ、が前年を上回ったため、全体の平均単価が367円/kgとなり、前月の383円/kgよりも下がったものの、前年対比では115%で推移しました。
- 2月単月の販売金額は196百万円(前年比103%)で終了しました。
- コロナウイルスによる再度の緊急事態宣言の発令で、家庭消費は前回ほどの増加しなかったものの、県内産の出荷量が少なく高単価で推移しました。

○品目別の入荷量・卸売価格の見通し(12月)

品目	入荷量			卸売価格			(参考)前年3月の主産地シェア(%)
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	▲	=	▲	▲	=	▲	長崎(51)、福岡(23)、香川(9)、宮崎(8)
にんじん	▲	=	▲	▲	▲	▲	長崎(28)、鹿児島(27)、熊本(22)、徳島(23)
はくさい	▲	▲	▲	▲	▲	▲	長崎(67)、熊本(26)
キャベツ	▲	=	▲	▲	=	▲	愛知(31)、福岡(26)、山口(11)、熊本(11)
ほうれんそう	=	▲	▲	=	▲	=	広島(77)、福岡(16)
青ねぎ	=	=	▲	▲	=	=	広島(62)、鳥取(11)、大分(7)、愛媛(6)
白ねぎ	▲	=	▲	▲	▲	=	鳥取(44)、広島(25)、大分(23)
レタス	▲	=	▲	▲	▲	▲	長崎(49)、福岡(25)、香川(15)
きゅうり	▲	=	=	▲	=	=	宮崎(38)、佐賀(19)、熊本(14)、福岡(10)
なす	▲	=	▲	=	=	▲	福岡(67)、佐賀(18)、熊本(10)
トマト(ミニトマトを除く)	▲	=	=	▲	▲	=	熊本(38)、広島(27)、宮崎(12)、長崎(11)
ピーマン	▲	▲	▲	▲	▲	=	宮崎(39)、鹿児島(32)、高知(14)、熊本(8)
ばれいしょ	▲	▲	▲	=	▲	▲	北海道(56)、鹿児島(44)
さといも	▲	=	▲	▲	=	▲	愛媛(77)、宮崎(17)
たまねぎ	▲	▲	▲	=	▲	▲	北海道(74)、長崎(15)、佐賀(7)
計	=	=	▲	▲	=	=	

注:「平年」とは、過去5か年の平均値。

※この資料の内容は、令和3年2月22日現在の予測であり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。

※主要野菜の入荷量及び卸売価格の見通しのコメント及びグラフは令和3年2月26日の中四国農政局園芸特産課の発表内容による。

◆3月の見通し

(1) 入荷量の見通し

- 3月の主要野菜(15品目)の入荷量は、平年を下回る水準と見込まれます。
- 「平年を上回る」と見込まれるのは、白ねぎの1品目です。
- 「平年を下回る」と見込まれるのは、だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、青ねぎ、レタス、なす、ピーマン、ばれいしょ、さといも、たまねぎの12品目です。
- 「平年並み」と見込まれるのは、きゅうり、トマトの2品目です。

(2) 卸売価格の見通し

- 3月の指定野菜(15品目)の卸売価格は、平年を下回る水準と見込まれます。
- 「平年を上回る」と見込まれるのは、なす、ばれいしょの2品目です。
- 「平年を下回る」と見込まれるのは、だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、レタス、さといも、たまねぎの7品目です。
- 「平年並み」と見込まれるのは、ほうれんそう、青ねぎ、白ねぎ、きゅうり、トマト、ピーマンの6品目です。

注:「平年」とは、過去5か年の平均値。

〈お問合せ先〉園芸課／神田：TEL.082-846-4708

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

品目	12月上旬		12月中旬		12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬		2月上旬		2月中旬	
	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比
だいこん	344	93%	319	92%	414	104%	199	87%	330	80%	424	101%	391	96%	366	100%
にんじん	243	89%	237	84%	238	90%	140	102%	225	82%	199	74%	215	85%	184	91%
はくさい	439	93%	440	90%	604	108%	330	111%	417	95%	442	94%	437	99%	394	94%
キャベツ	454	88%	439	94%	519	93%	317	92%	427	78%	540	90%	539	93%	557	109%
ほうれんそう	38	99%	33	94%	35	79%	24	88%	26	57%	52	103%	56	103%	60	109%
青ねぎ	32	87%	31	84%	41	84%	25	80%	31	73%	40	91%	40	88%	38	91%
白ねぎ	83	106%	102	121%	89	83%	44	81%	59	70%	79	99%	69	102%	53	92%
レタス	199	116%	185	110%	238	110%	123	103%	148	89%	176	106%	220	131%	213	145%
きゅうり	157	105%	142	101%	174	108%	129	90%	128	93%	171	96%	164	99%	165	98%
なす	45	126%	39	121%	38	104%	33	90%	30	94%	38	106%	48	127%	62	163%
トマト(ミニトマトを除く)	85	97%	70	79%	101	128%	77	105%	97	110%	134	142%	119	129%	118	128%
ミニトマト	55	122%	55	117%	61	121%	40	117%	50	121%	53	141%	51	139%	49	150%
ピーマン	44	107%	42	128%	44	108%	34	112%	43	107%	45	109%	44	113%	47	113%
ばれいしょ	231	95%	232	95%	210	100%	118	73%	198	75%	237	78%	218	76%	223	88%
さといも	18	71%	21	66%	55	135%	12	80%	18	67%	17	60%	18	70%	13	58%
たまねぎ	463	99%	428	95%	399	100%	301	126%	353	81%	566	112%	478	88%	463	107%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下の数値に青色、及び130%以上の数値に赤色を付す。

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位:円/kg

品目	12月上旬		12月中旬		12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬		2月上旬		2月中旬	
	前年価格	平年比	前年価格	平年比	前年価格	平年比	前年価格	平年比	前年価格	平年比	前年価格	平年比	前年価格	平年比	前年価格	平年比
だいこん	40	57%	47	65%	63	78%	81	92%	64	87%	57	83%	59	74%	49	66%
にんじん	89	74%	92	72%	144	98%	142	118%	137	110%	114	101%	143	115%	138	107%
はくさい	30	41%	38	53%	56	75%	60	70%	60	74%	45	64%	45	55%	35	44%
キャベツ	55	63%	62	69%	86	84%	98	80%	92	95%	86	89%	70	63%	68	61%
ほうれんそう	349	57%	569	95%	662	105%	856	126%	719	117%	541	84%	444	74%	377	70%
青ねぎ	476	77%	476	74%	612	87%	750	96%	774	108%	638	97%	608	89%	579	85%
白ねぎ	334	89%	345	96%	458	120%	646	155%	463	130%	299	88%	356	94%	388	103%
レタス	75	41%	103	54%	118	52%	161	56%	153	70%	167	74%	131	55%	123	51%
きゅうり	242	58%	290	62%	342	60%	282	77%	334	86%	364	87%	408	103%	331	99%
なす	384	89%	395	81%	412	88%	398	101%	467	105%	471	98%	451	96%	401	92%
トマト(ミニトマトを除く)	234	65%	271	81%	259	73%	260	77%	265	79%	230	67%	277	72%	302	79%
ミニトマト	351	60%	385	68%	418	66%	412	70%	434	78%	468	71%	498	71%	498	69%
ピーマン	353	85%	343	65%	386	67%	425	76%	581	92%	658	95%	728	98%	692	96%
ぱれいしょ	149	121%	148	127%	166	144%	181	154%	228	180%	225	167%	234	169%	239	170%
さといも	212	87%	235	93%	312	108%	303	110%	301	124%	275	111%	296	115%	274	103%
たまねぎ	71	89%	73	87%	79	90%	76	82%	86	94%	80	81%	82	88%	87	85%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下の数値に青色、及び130%以上の数値に赤色を付す。

月別の天候【令和3年2月24日】気象庁発表「向こう3か月の見通し」

3月

- 北日本日本海側では、寒気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。
- 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。
- 沖縄・奄美では、湿った空気の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

4月

- 北・東日本日本海側と沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 北・東日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
- 西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

5月

- 北日本と東日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 東日本日本海側と西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
- 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

出典:気象庁ホームページ

〈お問合せ先〉園芸課／神田:TEL.082-846-4708



共同購入トラクタ(中型)県内初納品

令和2年12月から出荷を開始した共同購入トラクタ(中型)の県内第1号を令和2年12月24日、東広島市の農事組合法人志和堀恵び寿に納品しました。

納品した共同購入トラクタ(中型)はクボタ製の「SL33L」(33馬力)で、ノークラッチ変速、48Lの大容量燃料タンク(おおむね1日無給油で作業可能)が標準仕様となっています。価格は同クラスと比べ、2割程度抑えた価格を実現しています。

同法人は、共同購入トラクタの取り組みをJA広島中央からの提案で知り、事前申し込みに応募後、いち早く購入を決定されました。同法人の森田組合長は「前回の共同購入トラクタ(大型)から取り組みに関心があつた。この度出荷開始された中型は、サイズや機能が丁度良く、低価格であることが魅力だ。」と話されました。

この取り組みについて、JA広島中央 経済部 井上部長は「共同購入トラクタを普及させることで生産拡大、所得向上を図り、生産者の営農を支援したい。」と抱負を述べました。



志和堀恵び寿の皆さんとJA広島中央・メーカーの職員



川崎センター長(右)から森田組合長(左)へトラクターを引渡し

共同購入トラクタ(中型)の受付は令和5年3月(予定)までとなります。

ご興味ある方は、最寄りのJA農機センターまでお問合せください。

※ご注文をいただいてから納品まで3ヶ月かかりますので、お早めにお申し込みください。

JAグループ共同購入トラクタとは

共同購入トラクタの取り組みは、生産資材コスト低減に向けたJAグループ自己改革の一環です。

全国1万人以上の生産者の声を反映し、機能を選びすぐり、全国でまとめて注文することで

メーカーの製造、流通を効率化し、製造コストを削減しています。

〈お問い合わせ先〉農業機械課／國弘:TEL.0824-62-3103



①令和3年度大型特殊自動車運転免許(農耕車限定)取得に向けた講習会開催

国土交通省の、農耕車に関する道路運送車両法の運用見直しに伴い、JA全農ひろしまは、令和2年度初めて、大型特殊運転免許（農耕車限定）講習を実施しました。応募総数152人の中から抽選で選ばれた計36人が受講し、34人が免許を取得しました。

のことから、令和3年度は講習会の開催回数を2倍に増やして、下記のとおり講習を実施します。免許取得をお考えの方は、是非お早めにご応募ください。（※応募者が多数の場合は抽選となります。）

【開催日時・場所】

講習	講習日程 (注) 土日は除く	試験日	申込締切
第1回	4月20日(火)～4月27日(火)	4月28日(水)	3月19日(金)
第2回	6月1日(火)～6月8日(火)	6月9日(水)	4月23日(金)
第3回	6月29日(火)～7月6日(火)	7月7日(水)	
第4回	8月24日(火)～8月31日(火)	9月1日(水)	
第5回	9月28日(火)～10月5日(火)	10月6日(水)	
第6回	11月23日(火)～11月30日(火)	12月1日(水)	7月16日(金)

講習：JA西日本農業技術センター（東広島市河内町入野11631-13）

試験：広島県自動車運転免許三次試験場（三次市畠敷町1880-11）

申込：JAを通じてご応募ください。

注意事項

- 講習の受講によって必ず免許取得とはなりません。
講習終了後、翌日に実施される試験を受験し、合格者のみ免許交付となります。
- 講習は、原則全日程ご参加いただきますようお願いします。
- 大型特殊免許の試験については、広島県警察の協力のもと、広島県自動車運転免許三次試験場で開催されます。
- 受験枠の数に限りがあります。
- 本講習は大型特殊運転免許（農耕車限定）の講習及び試験となります。
大型特殊免許の取得を希望される方は、各自動車学校にお問合せください。

②全農チャレンジファーム広島・三原農場JGAPの認証を取得！

全農チャレンジファーム広島・三原農場は、令和3年1月4日、日本GAP協会の農業生産工程管理（JGAP）の認証を取得しました。

GAPとはGood Agricultural Practiceの頭文字をとったもので、直訳すると「より良い農業のやり方」となります。農林水産省等では「農業生産工程管理」と呼んでおり、①農場運営②食品安全③環境保全④労働安全⑤人権・福祉の5項目について適切に対応しているかが審査で問われます。農薬や肥料などの農業資材の管理、周辺環境などのあらゆるリスクに対する回避策、農業者への労働環境改善など基準を満たす取り組みを、第三者である認証機関から認証を受ける制度です。

三原農場は、ハウス4棟でトマトとホウレンソウを栽培しており、今回の審査ではトマトのみの農業生産工程管理について審査を受けました。審査を受けるにあたって、従業員やパート職員と、農場だけではなく、農場周辺や施設等でのリスク評価を話し合うことで、改めて気が付くこと等もあり、安全な労働環境の確保に向けて、良いきっかけになりました。

審査が令和2年12月であったこともあり、トマトの栽培・出荷が行われている令和3年6月以降に維持審査を受ける予定ですが、引き続き、よりよい農場づくり、安全安心な農畜産物の栽培に取り組んで参ります。

③全農チャレンジファーム広島・三原農場、上下農場 新規就農研修生募集

上記農場では、今、新規就農研修生を募集しています。詳しくは、JA全農ひろしまのホームページをご覧ください。また、お問い合わせは、下記営農支援課までご連絡ください。

◎三原農場

- 品 目：トマト
研修期間：令和3年4月～令和5年3月（2年間）
対 象：研修終了後、三原市内で就農する
見込みのある18歳以上45歳未満の方
定 員：原則2名（選考により決定）
研修場所：JA西日本農業技術センター
(東広島市河内町入野)
チャレンジファーム広島・三原農場
(三原市高坂町真良)

脇芽を取る
方法を学ぶ
研修生



◎上下農場

- 品 目：アスパラガス
研修期間：令和3年4月～令和5年3月（2年間）
対 象：研修終了後、府中市上下町内で就農する
見込みのある18歳以上45歳未満の方
定 員：原則2名（選考により決定）
研修場所：JA西日本農業技術センター（東広島市河内町入野）
チャレンジファーム広島・上下農場（府中市上下町深江）

肥料散布
作業を行う
研修生



研修生募集関連のお問合せ先

JA全農ひろしま 営農資材部 営農支援課（担当：片島・沖田）
TEL 082-846-4706 FAX 082-846-4722
メールアドレス zz_hr_h-einoushien@zennoh.or.jp

※研修に関するお問合せは
FAXまたはメールでお願いします。

〈お問合せ先〉 営農支援課／平岡：TEL.082-846-4706



整頓された農場倉庫

肥料・農薬情報

水田での無人航空機ドローンの活用について

現在、農業生産に使用する無人航空機ドローンの普及が急速に拡大しています。水稻栽培におけるドローンの活用場面として、現状では本田防除用の殺虫殺菌剤散布が中心ですが、除草剤散布や施肥でもドローンを活用できる資材が増えてきています。JA全農ひろしまはJAと連携して、令和3年産の水稻栽培でドローン散布が可能な各種肥料農薬の展示圃試験の実施を予定しています。

年間を通したドローンの活用及びドローンでの散布に適した肥料農薬について紹介します。

1. 水稻栽培におけるドローンの年間利用について

除草から稻わら腐熟対策まで年間利用が可能です。

作業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11~3月
一発除草剤散布		●	●					
後期除草剤散布		●	●					
本田防除			●	●				
肥料散布(施肥)				●	●			
良質米対策 (高温障害対策)		●	●					
稻わら腐熟対策						●	●	

【推奨資材】

1. 一発除草剤
ジェイフレンド400FG、ボデーガード豆つぶなど
2. 後期除草剤
レプラスエアー、ヒエクリーン豆つぶなど
3. 本田防除剤
アミスタートレボンSE、ノンプラスバリダダントツフロアブル、ダブルカットスタークルゼルなど
4. 肥料
空散追肥306(窒素-磷酸-加里-苦土-ホウ素:30-0-6-1-0.015)
5. 良質米対策
KSK(けいさんかり)28
6. 稲わら腐熟対策
アグリ革命アカラ

2. ドローン散布におすすめの肥料農薬について

①除草剤

ドローン散布に適した剤型と代表的な農薬について紹介します。

- ・**FG剤・エアー剤**: 軽量で水面を自己拡散する新しい製剤で、ドローン散布にも適しています。
- ・**豆つぶ剤**: 10aあたりの散布量が250gでありドローン散布においては補給回数減少による省力化が図られます。

●一発除草剤



品名: ジェイフレンド400FG
規格: 4kg(1ha分)
剤型: FG剤

特徴:
ノビエからイボクサやクサネムなどの特殊雑草まで幅広い草種にバランスよく効果があります。



品名: ボデーガード豆つぶ250
規格: 250g(10a分) 2.5kg(1ha分)
剤型: 豆つぶ剤

特徴:
2つの有効成分を含有し、ノビエをはじめ、一年生雑草、多年生雑草、特殊雑草(クサネム・イボクサなど)に対して、優れた効果を発揮します。

●残草対策剤



品名: ヒエクリーン豆つぶ250
規格: 250g(10a分)
剤型: 豆つぶ剤
特徴:

既に発生した「ノビエ」への効果はもちろん、残効があり、後発の「ノビエ」の発生も抑えます。



品名: レプラスエアー粒剤
規格: 1.2kg(30a分)
剤型: エアー剤
特徴:

4つの有効成分配合で、とりこぼしてしまった各種雑草(ホタルイ、ノビエ、クログワイ、オモダカ)に高い効果を発揮します。

③肥料

●水稻用追肥



品名: 空散追肥306
規格: 20kg

成分: 30-0-6-1-0.015(窒素-リン酸-加里-苦土-ホウ素%)

特徴:

- ・金属を腐食させにくく、機体への負担が小さい肥料です。
- ・窒素成分が高くタンクへの補給回数が少なくてすみます。
- ・粒絆の揃いがよく、精度よく散布することができます。(事前に開度など散布装置との適合性を確認してください。)

●良質米生産、高温対策



品名: KSK28
規格: 1.4kg・4.2kg・14kg
成分: ケイ酸28%、加里17%

特徴:

- ・ケイ酸と加里を含む液体肥料です。
- ・たんぱく抑制、倒伏軽減、登熟向上に役立ちます。
- ・施用時期は、幼穂形成期～出穂期までがお勧めです。

・ドローンによる散布の場合の10aあたり施用量の目安は、1.4kgを2倍希釈散布です。

④稻わら腐熟対策



品名: アグリ革命アカラ
規格: 100ml・500ml

特徴:

- ・酵素の力で稻わらの腐熟を促進します。
- ・土壤影響を受けずに効果を発揮し、うきワラ、ガスわき減少が期待できます。
- ・ドローンによる散布の場合、100mlを水1～1.5ℓに希釈して、稻わらへ散布します。

低空でゆっくり散布することがポイントです。

〈お問い合わせ先〉 肥料農薬課／豊田:TEL.082-846-4705